

# 3 行財政改革の推進

## (1) 岡山市行財政改革推進プランの着実な実行

行財政改革の取組による財政効果額 約36億円

「岡山市行財政改革推進プラン(平成29年3月策定)」に基づき強固な行財政基盤づくりを進めるため、平成29年度に歳入の確保や既存の事務事業の見直しを行う事務事業チェック、より良い市民サービスを提供するための官民の役割分担の見直し等を行い、以下のとおり約36億円の財政効果を創出し、平成30年度の予算編成に繋げました。

### <主な取組>

#### ● 歳入の確保 (1百万円)

- 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の活用
- 公園内の公衆トイレにネーミングライツを設定 等

#### ● 歳出の見直し (1億11百万円)

- 電気購入に係る入札の実施
- 事業見直し(事業スクラップや事務執行方法等の見直し等)によるコスト縮減

#### ● 最適な資産管理 (16億68百万円)

- 未利用地の売却  
(旧後楽館中・高(天神校舎)跡地、高島浄化センター跡地等)

#### ● 官民の役割分担の見直し (15百万円)

- 友楽園給食調理業務の民間委託
- 中央図書館の図書連絡便配送業務の民間委託
- 学校給食の民間委託 等

#### ● 予算編成時の経常的経費の見直し (17億95百万円)

- 経常的経費の見直し、不用額の見直し  
※シーリング設定による縮減額を含む

財政効果

約36億円